

②5

あり・居るゐ(居をり)

侍はべりさぶら(ラ変)  
候さぶらふ(ハ四)

(エライ人のお側に)お仕える・伺こ候うする・お控こえする

さぶらふ||うかがうの意味もある

※「侍り・候ふ」の上に動作対象(エライ人のお側・エライ人の所など)があったり、または動作対象意識が強い(動作対象が補える)ときの「侍り・候ふ」は謙譲語。

尊敬語【四段活用】

は・ひ・ふ・ふ・へ・へ

**本** お与えになる・くださる

**補** おくになる・おくなさる

謙譲語【下二段活用】

へ・へ・〇・ふる・ふれ・〇

**補** します・(さ)せていただく

※①会話・手紙にしか使われない

②「思しひ(思しう)・見み・聞きき・知ちり」の下につく

③謙譲語だが、敬意の対象はその話を聞いている人! ↓機能は丁寧語

②6

※たまふ「給たまふ」(ハ下二)







